

資料

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA
宇都宮市
Utsunomiya City

「宇都宮市地域共生社会の実現に向けた 福祉のまちづくりプラン」 の取組状況について



1 計画概要について

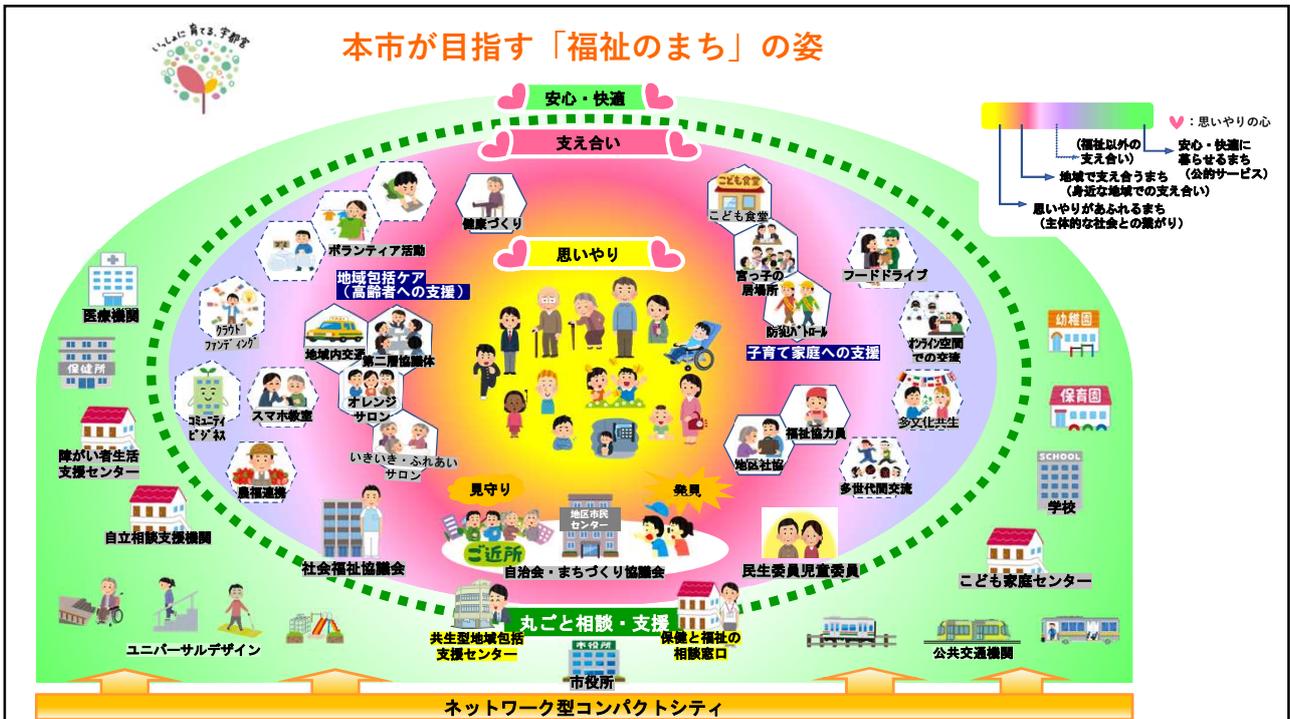
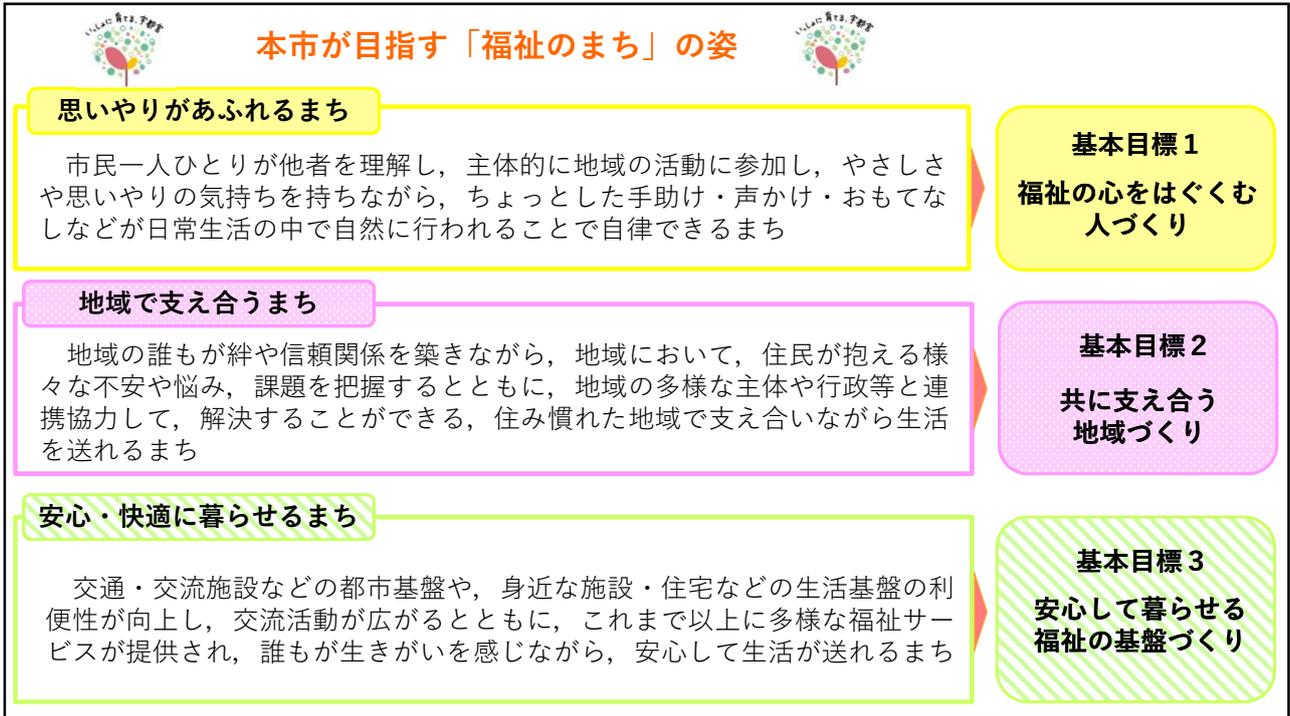
住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA
宇都宮市
Utsunomiya City

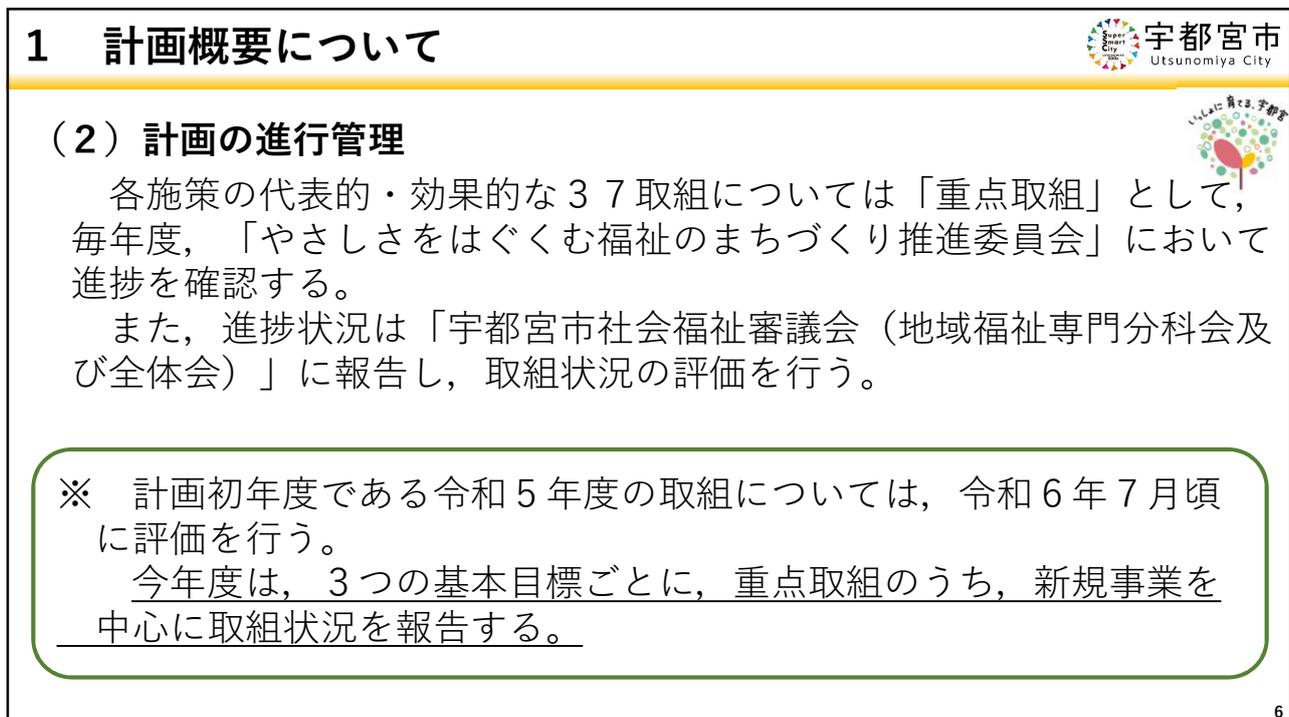
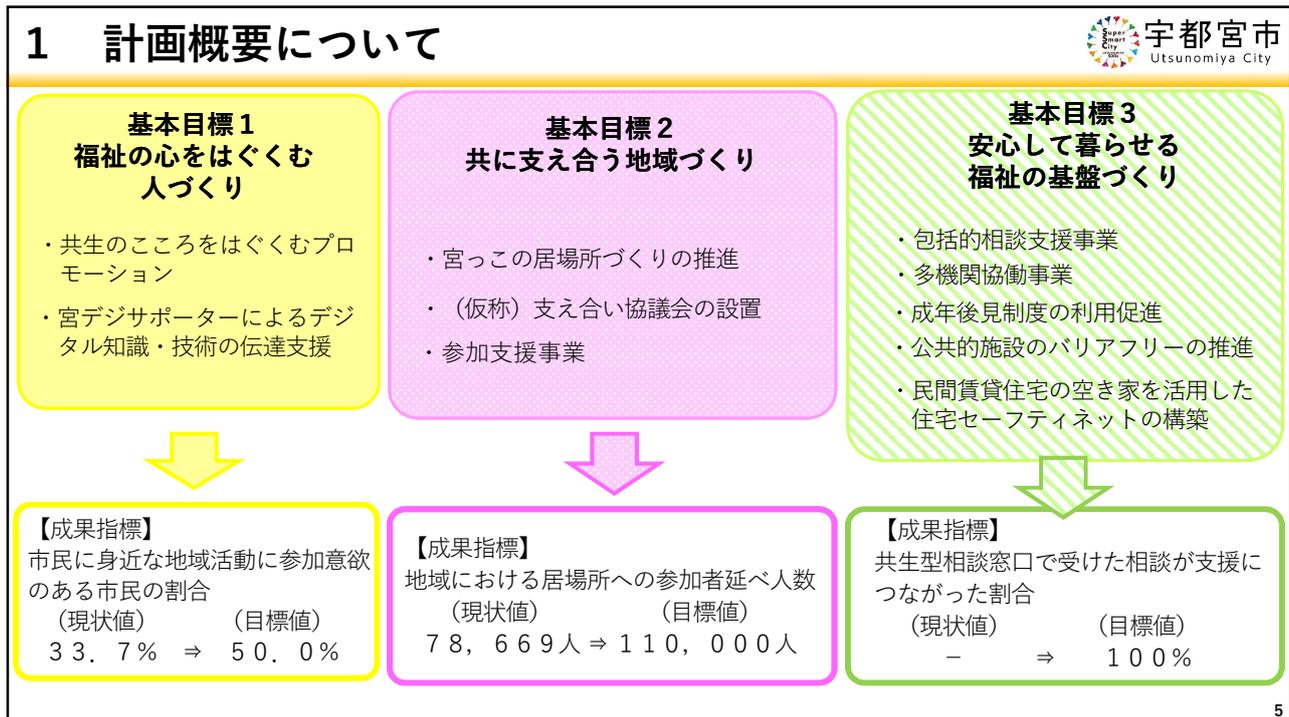
(1) 策定の目的

本計画は、すべての市民が、社会で孤立することのないよう、
住み慣れた地域で、絆を深めながら、支え合うことができる

「地域共生社会」を実現するため、

地域の多様な主体が参画・協働しながら、複雑化・複合化した課題の早期発見・早期支援のための相談支援体制整備や、地域の支え合いの仕組みづくりなどのソフト施策と、生活環境整備やバリアフリー整備のハード施策の両面から、一体的に福祉のまちづくりを推進するための計画として、令和5年2月に策定した。





2 【基本目標1】福祉の心をはぐくむ人づくりの取組状況について



基本目標	事業名	令和5年度の取組状況
福祉の心をはぐくむ人づくり	共生の心をはぐくむ プロモーション	<p>地域共生プロモーション動画 ・動画をプレックスアリーナや市内3か所のデジタルサイネージで放映するとともに、地域共生ロゴマークの缶バッジ配布を行い、地域共生社会の周知及び理解促進を図った。</p> <p>認知症VR体験 ・福祉の祭典において、認知症VR体験会を開催し、当事者理解の促進を図った。</p> <p>⇒ 市民に身近なところで周知を行い、更なる理解促進が必要</p> 

7

2 【基本目標1】福祉の心をはぐくむ人づくりの取組状況について



基本目標	事業名	令和5年度の取組状況
福祉の心をはぐくむ人づくり	「宮デジサポーター」によるデジタル知識・技術の伝達・支援	<p>宮デジサポーター養成・活動支援 ・高齢者等のデジタルに不慣れな方に対して、スマートフォンの操作方法などを教える地域のボランティアを養成するため、「宮デジサポーター」講座を開催した。応募者多数につき、講座を追加で開催し、目標値の2倍である40名を認定した。</p> <p>⇒ 一人ひとりの状況に合わせた活動支援が必要</p>

8

3 【基本目標2】共に支え合う地域づくりの取組状況について



基本目標	事業名	令和5年度の取組状況
共に支え合う地域づくり	宮っこの居場所づくりの推進	<p>宮っこの居場所</p> <p>・子どもが気軽に立ち寄り、大人の見守りのもと、宿題をしたり、遊んだり、食事をしたりしながら安心して過ごせる居場所が今年度新たに8か所増え、市内43か所に設置された。</p> <p>⇒ 地域により、開設状況に差があるため、希望するすべての子どもが身近なところで利用できるよう、自治会連合会などの関係機関と連携しながら、出前講座を開催するなどあらゆる機会を捉え更なる周知が必要</p>
		

9

3 【基本目標2】共に支え合う地域づくりの取組状況について



基本目標	事業名	令和5年度の取組状況
共に支え合う地域づくり	(仮称) 支え合い協議会の設置	<p>支え合い協議会の設立（令和5年11月）</p> <p>・市民、行政、民間事業者等が、それぞれの強みやリソースを活かしながら、協働し、全市一体となって新たな取組を検討するため、宇都宮市支え合い協議会を設立した。第2回協議会（事業計画）を3月に開催予定。</p>
	参加支援事業	<p>市内地域資源の把握</p> <p>・支援の際は、地域資源の活動内容を本人の特性に合わせて調整し、適切につなぐ必要があることから、地域資源について全庁照会を行い、子ども食堂や障がい者支援機関、就業支援機関、各種相談窓口等を把握した。</p> <p>⇒ 地域資源の更なる把握・充実が必要</p>

10

4 【基本目標3】安心して暮らせる福祉の基盤づくりの取組状況について 宇都宮市 Utsunomiya City

基本目標	事業名	令和5年度の取組状況
安心して暮らせる福祉の基盤づくり	包括的相談支援事業	<p>「保健と福祉のまるごと相談窓口『エールU』」を開設（令和5年4月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内30か所に世代や分野を問わない相談を受け付ける相談窓口を設置し、相談支援を実施。 ・12月から「共生型の相談窓口エールU」を「保健と福祉のまるごと相談窓口エールU」に名称変更し、市民に、わかりやすくなるよう工夫した。 <p>⇒ エールUの更なる周知が必要</p> <p>【実績】世代や分野を問わない相談（令和5年4月～10月）合計 6,537 件 （内訳） 市地域保健福祉担当（5か所） 6,180 件 地域包括支援センター（25か所） 357 件</p>

11

4 【基本目標3】安心して暮らせる福祉の基盤づくりの取組状況について 宇都宮市 Utsunomiya City

基本目標	事業名	令和5年度の取組状況
安心して暮らせる福祉の基盤づくり	多機関協働事業	<p>多機関協働による支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑化、複合化した課題を抱える個人や世帯に対して、多機関が協働して支援を実施 <p>⇒ 多機関協働事業者と各支援関係機関間の更なる連携が必要 支援に必要な社会資源に関する情報把握や開発が必要</p> <p>【実績】（令和5年12月末日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援会議（本人同意あり）：13件 ・支援会議（本人同意なし）：16件 <p>※複雑化・複合化した相談は、障がいや精神疾患、生活困窮を背景とし、複数の生活課題を抱える事例が多い。世帯構成は、単身世帯や高齢の親と子の問題など様々になっている。</p>

12

4 【基本目標3】安心して暮らせる福祉の基盤づくりの取組状況について 宇都宮市 Utsunomiya City

基本 施策	事業名	令和5年度の取組状況
安心して暮らせる福祉の基盤づくり	「成年後見制度利用支援事業」の効果的な運用	成年後見審判請求市長申立の円滑な実施 ・身寄りがない高齢者等の権利擁護支援として、成年後見審判請求市長申立を円滑に実施 【実績】申立件数 33件（令和6年1月末時点）
	中核機関の設置・運営	中核機関（市成年後見支援センター）の開設（令和5年10月） ・成年後見制度の利用を総合的に支援する中核機関として、成年後見制度に関する市民向け講演会や一次相談機関向け研修会の開催等の広報・啓発や、一次相談機関等からの専門相談を実施 ⇒ 一次相談機関等からの専門的相談に、よりの確に対応するため、法律等の専門職と連携した支援体制を充実していく必要。 【実績】相談件数 128件（令和6年1月末時点）
	関係機関の協働による地域連携ネットワークの構築	宇都宮市成年後見制度利用促進協議会の設置（令和5年7月） ・協議会を2回開催（令和5年8月、令和6年2月予定）し、成年後見制度の利用促進に係る中核機関の機能や市民後見人の育成等について意見交換

13

4 【基本目標3】安心して暮らせる福祉の基盤づくりの取組状況について 宇都宮市 Utsunomiya City

基本 目標	事業名	令和5年度の取組状況
安心して暮らせる福祉の基盤づくり	公共的施設のバリアフリーの推進	<p>公共的施設整備費補助事業 ・宇都宮建設業協会、商工会議所やおでかけガイド（障がい福祉課）掲載施設等に補助事業に関する周知を行った。 ⇒ 制度の認知度を高めるため、継続的な周知が必要</p> <p>男性用トイレへのサニタリーボックスの設置促進について ・高齢者や障がい者など、尿もれパッドを使用する人が外出しやすくなるよう、男性用トイレへのサニタリーボックスの設置について、ホームページ等を活用し、事業者向け、市有施設管理者向けに周知を行うとともに、設置状況についてのアンケート調査を実施した。</p> <p>移動式バリアフリースイートの導入（予定）について ・普通免許でけん引可能な移動式バリアフリースイートの導入に向けて取り組んでおり、今後イベントなどでの活用を予定している。</p>



14

4 【基本目標3】安心して暮らせる福祉の基盤づくりの取組状況について



基本目標	事業名	令和5年度の取組状況
安心して暮らせる福祉の基盤づくり	民間賃貸住宅の空き家を活用した住宅セーフティネットの構築	<p>宇都宮市居住支援協議会の設置・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低額所得者や高齢者、障がい者等の住宅確保要配慮者が、民間賃貸住宅へ円滑に入居できるよう、不動産関係団体や福祉団体、市住宅部門・福祉部門で構成する居住支援協議会を令和5年10月に設置し、住宅確保要配慮者の住まい探しの相談支援や不動産事業者等への周知啓発を実施 <p>経済的支援制度の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーフティネット専用住宅における家賃の一部を補助する「家賃低廉化補助」や、高齢入居者のための見守りサービス利用に対する補助などの経済的支援制度を創設 <p>⇒ セーフティネット専用住宅の登録促進に向けた、民間賃貸住宅オーナーへの周知啓発</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅確保要配慮者への相談支援：26件（令和5年12月末時点） ・不動産事業者向けセミナー参加者：50人（令和6年1月11日開催）

15

5 令和5年度の取組状況（総括）



【基本目標1】福祉の心をはぐくむ人づくり

市民一人ひとりが身の回りの人にちょっとした手助けを行えるよう周知啓発を行い、概ね順調に取り組んでいる。

【基本目標2】共に支え合う地域づくり

市民の自発的な活動の支援を行うとともに、多様な主体が連携するためのネットワークづくりに取り組み、概ね順調に進んでいる。

【基本目標3】安心して暮らせる福祉の基盤づくり

保健と福祉のまるごと相談窓口「エールU」や市成年後見支援センターなど相談支援体制を強化するとともに、バリアフリーに関する取組を進めるなど、概ね順調に取り組んでいる。

⇒ 令和6年7月に改めて計画全体の令和5年度の評価を行う。



16